

児童・学童を対象に新体験型衛生プログラムを開始

ライオン

ライオンは、10月15日の「世界手洗いの日」にちなみ、全国の保育園・幼稚園・小学校などを対象に、自発的に学べる衛生教材とハンドソープ・消毒ジェルを配布する新体験型衛生プログラム「みんなでつなごうキレイの習慣」Produced by キレイ

「キレイ」の申し込み受付を開始した。

プログラムを通して、より良い衛生習慣の実践に貢献していく。なお、学校などからの応募は専用サイトにて受け付けており、定数に達し次第締め切るといふ。

昨今、社会情勢と子どもたちを取り巻く環境が日々変化する中、子どもたちを預かる保育園・幼稚園や小学校などでは子どもたちの感染対策と教育活動の両立に日々最前線で取り組んでおり、そうした取り組みへの敬意を

プログラムを希望する全国の保育園・幼稚園・小学校などにおいて、楽しく学び明るく生活できる環境を整えたいという想いから、今回のプログラムを企画した。

今回のプログラムで参加者から寄せられた不安や困りごとを含めた回答を教材として随時配信し、より良い衛生習慣の実践につなげていく。

ポラは、DV被害者の女性や子どもたちの支援を行うNPO法人全国女性シェルターネットワークに、乾燥や外部刺激から肌をやさしく守ることにこだわった高保湿スキンケアブランド「モイスティシモ」のローション、ミ

ルック各150本を寄贈することを決め、10月1日、東京都のシェルター事務局にて、寄贈式が行われた。

内閣府が発表した2020年度のドメスティックバイオレンス(DV)相談件数の速報値は19万30件で、2019年度の約12万件から1・6倍に急増し過去最多となった。

今回、DV被害を受けた女性と子どもを支援する全国女性シェルターネットワークの活動を化粧品を通じてバックアップすることで、着の身着のままで避難してきた被害女性たち



「みんなでつなごうキレイの習慣」Produced by キレイキレイは、子どもたちが自ら、保護者のみならず、教職員の間で、楽しく学び明るく生活するために、手洗いや消毒を行う習慣を、遊びを通して身につけ、自然に清潔な衛生習慣を身に付けさせるためのプログラムです。乳幼児から小学生までの年齢に応じた、学習教材をご用意し、学校現場での実践や衛生指導者の研修プログラムにも活用します。

DV被害者の支援を行うNPO法人に化粧品を寄贈 ポーラ

ポラは、DV被害者の女性や子どもたちの支援を行うNPO法人全国女性シェルターネットワークに、乾燥や外部刺激から肌をやさしく守ることにこだわった高保湿スキンケアブランド「モイスティシモ」のローション、ミ

医療従事者応援プロジェクトで化粧品を継続寄贈

コーセーは、昨年12月に医療従事者応援プロジェクト「You are my HERO」を発足し、公益財団法人日本財団を通じて、全国の医療従事者を対象とした化粧品を継続寄贈することを決定した。

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が9月30日をもって全面解除されたが、医療従事者への負担は、依然として高い状態が続いており、心身にかかる負担やストレスの軽減が必要な状況が続いている。今回、中でも長期にわたり多数の感染者が発生した東京都の医療機関に対し、日本財団を通じて化粧品の寄贈をするCATYとした。

品の寄贈活動(合計約112万点の寄贈)を行ってきたが今回、「雪肌精」「ヴィセ」「クリアターン」など約3万6000点の化粧品を追加寄贈することを決定した。

「You are my HERO」



近代化学株式会社 代表取締役社長 岡部 達彦 氏



「衛生対策のさらなる充実」「各部の増員」「顧客との連携強化」を具体的な成長プランに掲げ、売上高は前期比16・8%増の10億5000万円を目指す。「日本の丸紅とイギ

「衛生対策のさらなる充実」「各部の増員」「顧客との連携強化」を具体的な成長プランに掲げ、売上高は前期比16・8%増の10億5000万円を目指す。「日本の丸紅とイギ

ヘアケア専門OEMの近代化学では、2016年より取引先を招いた経営指針発表会を毎年開催している。

先月28日には、9月よりスタートした今期(第68期)の経営指針発表会がレンブラントホテル海老名にて行われ、営業部・研究開発部・品質保証部・生産

部・業務部・総務部・情報システム室の各部署に所属する社員が、昨年の振り返りと今年の決意を表明した。

岡部社長は、発表会の狙いについて「自分が働いている会社で他の部署の人が何を考

え、何を目指しているかを知ることが大事で、それを社内だけで

「二入ひとりの能力向上(資格手当や研修の充実)」「生産設備の拡充(自動充填装置等)」「

人材・設備面での成長投資を進め

2025年に売上高30億円めざす

(禁無断転載) ©R

本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられております。本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。